

新年明けましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと喜び申し上げます。

今年、荒尾市制施行70周年を迎える年です。これまでの70年の歩みを大切にしながら、これからの荒尾市をどのような市にするのか、その姿を今年策定する第5次荒尾市総合計画に描き、皆様にお示ししながら「まちづくり」を進めたいと考えております。

さて、我々を取り巻く社会は、長引く経済不況や東日本大震災への対処、T P P、欧州の金融不安など出口の見えない状況にあります。その中で昨年は、かねてから重要課題でありました荒尾競馬について、断腸の思いでその廃止を決定し、先月23日のレースを最後に83年間の歴史に幕を閉じました。今後も国、県などと連携し、離職者支援や地域浮揚に向けた跡地活用に取り組んでまいります。

平成二十四年 迎春

新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、すがすがしい新年を、ご家族お揃いで迎えのことと心からお慶び申し上げます。

私も昨年5月の改選におきまして、新しい議会のもと、引き続き議長に就任させていただき、市政の進展と円滑なる議会運営に微力ながら全力を尽くしてまいりました。その間、皆様から賜りましたご理解とご協力に、厚くお礼を申し上げます。

現在、荒尾市は行政政策の基本である「第5次荒尾市総合計画」を平成24年度策定に向け審議会などで審議を重ねており、議会からも各常任委員長3人がその一員として参画しております。

また、本市の重要課題でありました「荒尾競馬の存続問題」につきましては、本市に多大な経済効

また、辛亥革命100周年に合わせ「記念シンポジウム」や創作ステージ「宮崎滔天と孫文」などの記念事業を実施し、市民の皆様と共に孫文と本市出身の宮崎滔天との友情の歴史について見識を深めることができました。今年、日中国交正常化40周年。秋には中国上海市において「上海滔天展」の開催も計画しております。今後も先人たちの功績を顕彰し、本市が日中友好の礎となるよう力を尽くしたいと考えております。

その他、日本の近代化に大きく貢献し世界遺産本登録を目指す「万田坑」につきましては、先日1月9日に2回目となる世界遺産シンポジウムを荒尾総合文化センターにおいて開催し、本登録に向けてその志を新たにしました。また、現在日本有数の渡り鳥の飛来地である荒尾干潟を、ラムサール条約へ登録するべく取り組んでおります。これら「宮崎滔天」「万田坑」「荒

果をもたらす、地域経済を支えてまいりましたが、競馬事業の将来に向けた見通しや市の財政への影響など総合的に判断し、荒尾競馬の廃止が決断されたもので、私たち市議会といたしても残念ではありますが、一定の理解を示した所です。

今後は、廃止に伴う離職者対策や跡地活用について荒尾市はもとより国、県など関係機関とも連携し、市議会としても全力をあげて取り組む決意であります。

私達市議会は、昨年5月より新しい議会のもと「議会改革推進特別委員会」を設置し、議会運営の効率化と機能の強化、そして情報公開の推進、透明性の確保などさまざまな議会改革、改善の取り組みを進めてまいりました。今後は、市議会アンケート調査を行い、市民の皆様方のご意見を拝聴し、議

「尾干潟」は、本市が持つ歴史・文化・産業・自然という「強み」であり、これらを連携させ新たな地域資源として活かすことが、我々の使命であると考えております。

今年の干支は「辰」です。この70周年の節目の年を、このような時代の中であつても天を飛翔する「辰」のように力強く、そして市民との協働をキーワードに「人を活かし、地域を活かし、市を活かす」まさしく総力を挙げた「元気なあらお」づくりにまい進したいと考えておりますので、皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が皆様にとりまして希望に満ちた幸せ多い年となりますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。



荒尾市長 前畑淳治

荒尾市議会議長 島田稔

会改革の参考とさせていただきます「議会基本条例制定」に向け努力したいと考えております。また、自治体の自立に向けた、効果的、効率的な行政運営をはじめ、地域産業の推進、教育文化の振興、住民福祉の向上など荒尾市の街づくりに欠かすことのできない重要な課題が山積しており、これらの政策課題に一丸となって取り組んでまいります。

どうか、本年も旧年に倍してのご支援とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、皆様のお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。